

[A] 欧米列強の接近

		諸 外 国 の 接 近	幕 府 の 対 応	
(寛政の改革) 家齊 (大御所時代)	松平定信	1792年 ラ(ッ)クスマン〔ロシア使節〕が根室に来航 → エカチェリーナ2世の命で、漂流民の大黒屋光太夫を送還 → ロシア漂流記を桂川甫周が『北槎聞略』に記録 1804年 レザノフ〔ロシア使節〕が長崎に来航 → ラクスマンに交付した信牌(長崎への入港許可証)を持参 1808年 フェートン号事件(イギリス) ナポレオン戦争の余波を受け、イギリス軍艦フェートン号がオランダ船を追って長崎に侵入 → 松平康英〔長崎奉行〕が自害 → ★イギリス船が宝島(薩摩)・大津浜(常陸)に上陸(1824)	1798年 近藤重蔵の蝦夷地派遣(最上徳内と共に派遣) 択捉島に「大日本恵登呂府」の標柱を立てる ★東蝦夷地直轄(1799) → [箱館奉行]設置(1802) 文化の撫恤令(文化の薪水給与令) 漂着した外国船に薪水・食糧を与える ★西蝦夷地直轄(1807) → [松前奉行]設置(1807) 1808年 間宮林蔵の樺太調査 樺太が島であることを確認(間宮海峡を発見) 無二念打払令(異国船打払令) 清・朝鮮・琉球・オランダ船以外の外国船の撃退を命じる	
	(天保の改革) 家慶 阿部正弘	水野忠邦	1840年〜アヘン戦争(イギリスVS清) 1842年 南京条約(清はイギリスに香港を割譲)	1839年 蛮社の獄(幕府の措置を批判した洋学者を処罰) 高野長英『戊戌夢物語』 渡辺華山『慎機論』 小関三英(連坐を恐れて自殺) 1841年 軍事改革(高島秋帆を招き西洋砲術を採用) 1842年 天保の薪水給与令(文化の薪水給与令に戻す)
		家定 堀田正睦	1844年 オランダ国王ウィレムII世の開国勧告 1846年 ビッドル〔アメリカ東インド艦隊司令長官〕が浦賀来航 1853年 ペリー〔アメリカ東インド艦隊司令長官〕が浦賀来航(嘉永6年) 4隻の「黒船」(旗艦=サスケハナ号)を率いて開国を要求 → 久里浜に上陸し、フィルモア〔米大統領〕の国書を提出 → ★阿部正弘は開国要求に対し大名・幕臣に対応を諮問 1854年 ペリーが軍艦7隻を率いて再来航 → ★『日本遠征記』(ペリー艦隊の日本遠征記録)	[安政の改革 by 阿部正弘〔老中〕] ①人材登用 徳川斉昭〔海防参与〕・川路聖謨〔海防掛・勘定奉行〕 ②国防強化 大船建造禁(武家諸法度の規定)の緩和 江川英龍が伊豆釜山に反射炉・江戸品川沖に台場を築造 ③洋式訓練 講武所(江戸で武術訓練)・海軍伝習所(長崎で海軍訓練) ④洋学研究 洋学所(1855) → 蕃書調所(1856)(のち洋書調所→開成所) ★蛮書和解御用(1811年に設置した蘭書翻訳機関)を強化 1854年 日米和親条約(→のち、英・露・蘭とも締結) ①アメリカ船に燃料・食料を提供する ②難破船や乗組員を救助する ③下田・箱館の開港(領事の駐在を認める→のちハリス着任) ④アメリカに片務的最恵国待遇を与える 1855年 日露和親条約(下田で川路聖謨が締結) ①下田・箱館以外に、新しく長崎を開港 ②日露の国境は択捉島・得撫島の間(樺太は両国雑居) 1858年 日米修好通商条約(→のち、英・露・蘭・仏とも締結) ★安政の五カ国条約(米・英・露・蘭・仏との修好通商条約) ①堀田正睦〔老中〕が通商条約調印の勅許要求 → 孝明天皇が拒否 ②井伊直弼〔大老〕が無勅許のまま調印(違勅調印) ①神奈川(→横浜)・長崎・兵庫(→神戸)・新潟の開港 ②江戸・大坂の開市 ③通商は自由貿易とする ④開港場に居留地(外国人の居住する地域)を設ける ⑤領事裁判権(治外法権=外国人が在住国の裁判を受けない) 協定関稅制(関稅自主権がなく両国の協議で関稅率を決定)
			(政局の転換) 家茂 井伊直弼(大老)	[南紀派] 徳川慶福(紀伊藩主) 井伊直弼(彦根藩主)のち大老に就任(1858) VS [一橋派] 徳川慶喜(徳川斉昭の子) 徳川斉昭(前水戸藩主) 松平慶永(越前藩主) 島津斉彬(薩摩藩主) 1858年〜安政の大獄(井伊直弼が反対派の大名・志士らを弾圧) 橋本左内(越前藩士)・吉田松陰(長州で松下村塾を開く) 頼三樹三郎(頼山陽の子)・梅田雲浜(若狭小浜藩士) 1860年 桜田門外の変(尊攘派の水戸脱藩士らが井伊直弼を暗殺)

[B] 貿易の開始

**貿易の開始**

- ①貿易開始 1859年～
- ②貿易形態 居留地貿易 (開港場に設けられた外国人の居住地域での貿易)
- ③貿易港 1位=横浜・2位=長崎・3位=箱館
- ④貿易相手 1位=イギリス・2位=フランス  
★アメリカは南北戦争で後退
- ⑤輸出品 1位=生糸・2位=茶・3位=蚕卵紙  
★蚕卵紙はイタリア・フランスにおける蚕病の流行が背景
- ⑥輸入品 1位=毛織物・2位=綿織物

[産業の発達・衰退]

発達=製糸業 (マニュファクチュア経営が発達→生糸を輸出)  
衰退=絹織物業 (原料の生糸不足が原因)  
綿織物業 (安価な綿織物輸入が原因)

---

**貿易の問題点**

[大幅な輸出超過(問題点①)]  
生産地と結びついた在郷商人が問屋を通さず、  
直接商品を開港場へ送る→江戸・国内の品不足=物価高騰

1860年 **五品江戸廻送令** (重要輸出5品の江戸への回送を命じる)  
五品=雑穀・水油・蠟・呉服・生糸

農村(在方)を拠点とする在郷商人(諸商人)が江戸(御府内)を通さず開港場神奈川(横浜)へ商品を輸送  
江戸などで品不足により物価高騰→まずは江戸への商品輸送を命令=五品江戸廻送令(1860)

[金銀交換比価の相違(問題点②)]  
金銀比価=日本(金1:銀5) ⇄ 外国(金1:銀15)  
→大量の金貨が流出

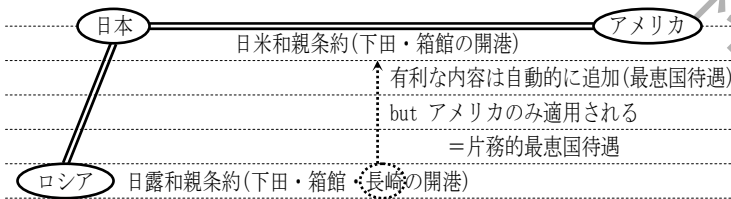
1860年 **万延小判** 鑄造 (金流出防止のため悪貨鑄造)  
貨幣の価値が下落したため物価高騰

[尊王攘夷運動(排外的政治運動)]

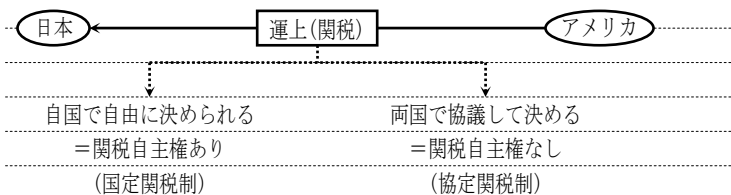
- 1860年 ヒュースケン (総領事ハリスの通訳) 暗殺
- 1861年 東禅寺事件  
↓  
水戸藩浪士が江戸高輪のイギリス仮公使館を襲撃
- 1862年 イギリス公使館焼き打ち事件  
高杉晋作らが品川御殿山のイギリス公使館を襲撃

[NOTE]

<最恵国待遇(条約締結国の一方が、条約を締結した相手国に対して、第三国に与えている最も恩恵的な待遇と同等の待遇を与えること)>

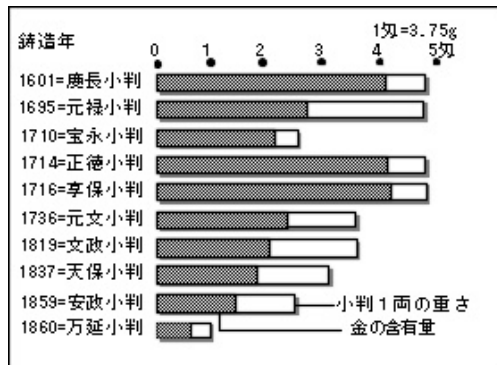
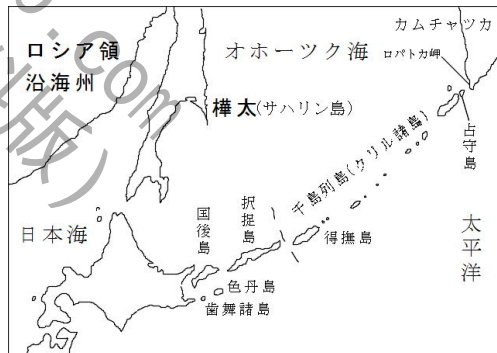


<協定関税制> 品目ごとの関税率の詳細は貿易章程に記載  
輸入関税率=平均20%→のち5% by 改稅約書(1866)



<貿易章程の関税率>

輸入品=0% (衣服・家財など)・5% (食糧など)・35% (酒類)・20% (その他)  
輸出品=5% (輸入品・輸出品の運上(関税)はどちらも幕府の運上所(税関)に納入)



[A] 欧米列強の接近

	諸 外 国 の 接 近	幕 府 の 対 応
寛政の改革	年 _____ [ロシア使節] が _____ に来航 → 1798年 _____ の蝦夷地派遣 (最上徳内と共に派遣) _____ の命で、漂流民の _____ を送還 → ロシア漂流記を _____ が 『 _____ 』 に記録	島に「大日本恵登呂府」の標柱を立てる ★東蝦夷地直轄(1799) → [ _____ 奉行] 設置(1802)
	年 _____ [ロシア使節] が _____ に来航 → _____ 年 _____ ( _____ ) ラクスマンに交付した _____ ( _____ への入港許可証) を持参 _____ 号事件 (イギリス) _____ の余波を受け、イギリス軍艦フェートン号が _____ 船を追って長崎に侵入 → _____ [ _____ 奉行] が自害 → ★イギリス船が宝島 (薩摩)・大津浜 (常陸) に上陸 ( _____ ) → _____ 年 _____ ( _____ )	(文化3年) 漂着した外国船に薪水・食糧を与える ★西蝦夷地直轄(1807) → [ _____ 奉行] 設置(1807) _____ の権太調査 _____ が島であることを確認 ( _____ を発見)
大御所時代	年 _____ 号事件 (ロシア) _____ 島を測量中のゴローウニンを抑留 ★ 『 _____ 』 → ロシアは報復として _____ を抑留 (のち両者釈放)	(文政8年) 清・朝鮮・琉球・オランダ船以外の外国船の撃退を命じる
	年 _____ 号事件 (アメリカ) モリソン号が漂流民の送還・日本との通商を求めて来航 → _____ (相模)・山川沖 ( _____ ) で砲撃	_____ 年 _____ (幕府の措置を批判した洋学者を処罰) _____ 『 _____ 』 _____ 『 _____ 』 _____ (連坐を恐れて自殺)
天保の改革	1840年 ~ _____ (イギリスVS清) _____ 年 _____ (清はイギリスに _____ を割譲) → _____ 年 _____ ( _____ を引き返す)	1841年 軍事改革 ( _____ を招き西洋砲術を採用) _____ 年 _____ (文化の薪水給与令に戻す)
	_____ 年 _____ 国王 _____ の開国勧告 _____ 年 _____ [アメリカ東インド艦隊司令長官] が _____ 来航 ↓ _____ 年 _____ [アメリカ _____ 艦隊司令長官] が _____ 来航 (嘉永6年) 4隻の「黒船」(旗艦 = _____ 号) を率いて開国を要求 → _____ に上陸し、 _____ [米大統領] の国書を提出 ★阿部正弘は開国要求に対し大名・幕臣に対応を諮問	[ _____ by _____ (老中)] ①人材登用 _____ [海防参与]・ _____ [海防掛・勘定奉行] ②国防強化 大船建造禁(武家諸法度の規定)の緩和 _____ が _____ に _____ ・江戸品川沖に _____ を築造 ③洋式訓練 _____ (江戸で武術訓練)・ _____ (長崎で海軍訓練) ④洋学研究 _____ (1855) → _____ (1856) (のち _____ → _____ ) ★ _____ (1811年に設置した蘭書翻訳機関) を強化
	1854年 ペリーが軍艦7隻を率いて再来航 → _____ 年 _____ (→のち、 _____ とも締結) ★ 『 _____ 』 (ペリー艦隊の日本遠征記録)	①アメリカ船に燃料・食料を提供する ②艦破船や乗組員を救助する ③ _____ の開港 ( _____ の駐在を認める→のちハリス着任) ④アメリカに片務的 _____ を与える
	(1853年 _____ [ロシア使節] が _____ に来航) → 1855年 _____ ( _____ で川路聖謨が締結) ★ _____ の大地震 (1855年に江戸に発生した地震 → 「鯨絵」が多数描かれる) 1856年 _____ [アメリカ駐日 _____] の _____ 着任 1856年 _____ 事件 (第二次アヘン戦争の契機となった事件) → _____ 年 _____ (→のち、 _____ とも締結) 1858年 _____ (清が英・米・露・仏と結んだ講和条約)	①下田・箱館以外に、新しく _____ を開港 ②日露の国境は _____ 島・ _____ 島の間 ( _____ は両国雑居) ★ _____ (米・英・露・蘭・仏との修好通商条約)
	[政局の転換] [ _____ 派] [ _____ 派] _____ (紀伊藩主) _____ (徳川斉昭の子) _____ ( _____ 藩主) _____ (前水戸藩主) のち _____ に就任(1858) _____ (越前藩主) _____ (薩摩藩主)	① _____ (老中) が通商条約調印の勅許要求 → _____ 天皇が拒否 ↓ ② _____ [ _____] が無勅許のまま調印 ( _____ ) ① _____ (→ _____)・ _____ (→ _____)・ _____ の開港 ② _____ の開市 ③通商は自由貿易とする ④開港場に _____ (外国人の居住する地域) を設ける ⑤ _____ (治外法権 = 外国人が在住国の裁判を受けない) _____ (関税自主権がなく両国の協議で関税率を決定)
	1858年 ~ _____ (井伊直弼が反対派の大名・志士らを弾圧) _____ (越前藩士)・ _____ (長州で _____ を開く) _____ (頼山陽の子)・ _____ (若狭小浜藩士) _____ 年 _____ (尊攘派の _____ 脱藩士らが _____ を暗殺)	1860年 日米修好通商条約の批准書交換 _____ ホーハタン号 (米艦) = _____ [ _____ 奉行] _____ (随行艦) = _____ (幕臣)

[B] 貿易の開始

**貿易の開始**

①貿易開始 \_\_\_\_\_年～

②貿易形態 \_\_\_\_\_貿易 (開港場に設けられた外国人の居住地域での貿易)

③貿易港 1位= \_\_\_\_\_・2位= \_\_\_\_\_・3位= \_\_\_\_\_

④貿易相手 1位= \_\_\_\_\_・2位= \_\_\_\_\_  
★アメリカは \_\_\_\_\_で後退

⑤輸出品 1位= \_\_\_\_\_・2位= \_\_\_\_\_・3位= \_\_\_\_\_  
★蚕卵紙は \_\_\_\_\_における蚕病の流行が背景

⑥輸入品 1位= \_\_\_\_\_・2位= \_\_\_\_\_

[産業の発達・衰退]

発達=製糸業 ( \_\_\_\_\_経営が発達→ \_\_\_\_\_を輸出)

衰退=絹織物業 (原料の生糸不足が原因)

綿織物業 (安価な綿織物輸入が原因)

**貿易の問題点**

[大幅な輸出超過(問題点①)]

生産地と結びついた \_\_\_\_\_ が問屋を通さず、  
直接商品を開港場にする→江戸・国内の品不足=物価高騰

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ (重要輸出5品の江戸への回送を命じる)

五品= \_\_\_\_\_

[金銀交換比価の相違(問題点②)]

金銀比価=日本(金:銀) ⇄ 外国(金:銀)  
→大量の金貨が流出

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ 铸造 (金流出防止のため悪貨铸造)

貨幣の価値が下落したため物価高騰

[ (在方)を拠点とする \_\_\_\_\_ ]

\_\_\_\_\_ が \_\_\_\_\_ (御府内)を通さず  
開港場 \_\_\_\_\_ へ商品を輸送

江戸などで品不足により物価高騰  
→まずは江戸への商品輸送を命令  
= \_\_\_\_\_ (年)

[ (排外的政治運動) ]

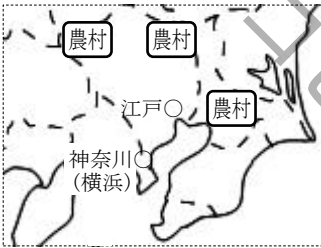
1860年 \_\_\_\_\_ (総領事ハリスの通訳) 暗殺

1861年 \_\_\_\_\_ 事件

↓

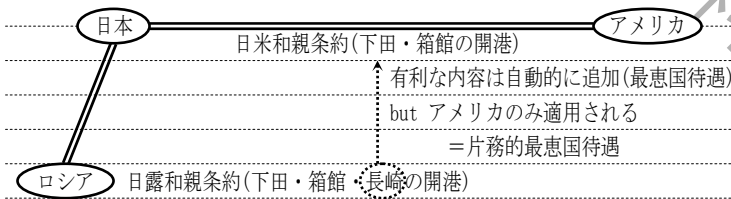
1862年 \_\_\_\_\_ 公使館焼き打ち事件

\_\_\_\_\_らが \_\_\_\_\_ のイギリス公使館を襲撃

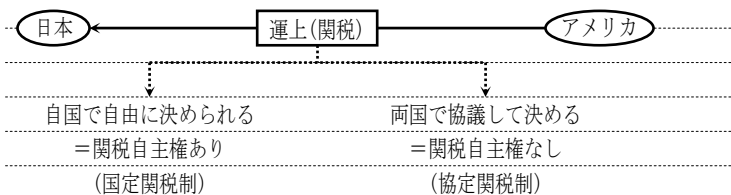


[NOTE]

<最恵国待遇(条約締結国の一方が、条約を締結した相手国に対して、  
第三国に与えている最も恵的な待遇と同等の待遇を与えること)>



<協定関税制> ↑ 品目ごとの関税率の詳細は貿易章程に記載  
輸入関税率=平均20%→のち5% by 改稅約書(1866)



<貿易章程の関税率>

輸入品=0%(衣服・家財など)・5%(食糧など)・35%(酒類)・20%(その他)

輸出品=5%(輸入品・輸出品の運上(関税)はどちらも幕府の運上所(税関)に納入)

